



ハブにご注意!

沖縄県には22種類のヘビがいますが、毒ヘビは8種類で、その中で危険なのはハブ、ヒメハブ、サキシマハブ、タイワンハブの4種類です。ハブ対策として下記のことを気をつけて、ハブによる被害を防ぎましょう。

【ハブ対策の方法】

- ①隠れ場所をなくす。
- ②侵入を防ぐ。
- ③ハブが出たら、関係機関（警察・消防・市役所の環境課）に連絡する。
- ④畑や山では咬まれないよう工夫する。

【ハブにかまれたら】

- ①ハブにかまれたら、大声で助けを呼び、車で病院に運んでもらいましょう。（あわてて走ると毒の回りが早くなります。）
- ②傷口から血と一緒に毒を吸い出します。（専用の吸引器がない場合は口で吸い出します。虫歯や口内にキズがあっても軽い炎症を起こすこともあります。心配いりません。また、毒は飲み込んでも、胃の中で消化分解されるので害はありません。）
- ③病院まで時間がかかる場合は、指が1本通る程度にゆるく縛ります。（傷口から心臓に近い部分をゆるく縛ります。強く縛ると血の流れが止まり、逆効果になることもあります。また、必ず15分に1回はゆるめましょう。）

沖縄では屋敷の周りに漁網を張り、ハブをからめ捕った例があります。

ハブの出没で悩まされ、ネットが利用できそうな環境がある方は、ネットを使用してはいかがでしょうか。自分で作れるワイヤーメッシュネットの利用方法
ワイヤーメッシュ（たとえば、長さ約70cm）にネット（25mmの網目）を張ります。



※写真は沖縄県衛生環境研究所提供

【ワイヤーメッシュネット設置の手順】

- ①設置地点決定。（ハブの通り道になりやすい、壁やフェンスや温室沿いなどが適地です）
 - ②ワイヤーメッシュに漁網や適度の網を緩く張る。
 - ③地面に突き刺す（必要なら倒れないよう針金で補強）
 - ④10メートル前後離して、1カ所に3～7枚設置する。
 - ⑤付近の人には近づかないよう注意をうながす。
 - ⑥年に数回見回る（ハブが捕獲されていれば環境課へ連絡する）
 - ⑦2年間捕れなければ、場所をかえる。
- ※ワイヤーメッシュ設置について、捕獲されたハブは、しばらくは生きていますので、いたずらに近づくと咬まれる危険性が高く、設置場所には細心の注意が必要です。

環境課 ☎973-5594

第5回うるま市民総合文化祭

うるま市文化協会事務局

☎978-2329

「うちぞろて 高めらな うるま市の文化」をテーマに今年もまた、市文化協会の会員による舞台発表を開催します。多くの市民のご観覧をお待ちしております。

【とき】 7月18日（土）・19日（日）

20日（月）

午後6時開演

【ところ】 市民芸術劇場 響ホール

【入場料】 500円

第5回 しまくとぅば語やばら うるま市大会

うるま市文化協会事務局

☎978-2329

ふるさとの言葉に対する関心を高め、その価値を見直す機会を提供し、地域文化の継承発展を目的に開催します。

【とき】 8月1日（土）

午後2時開演

【ところ】 うるま市きむたかホール

【入場料】 無料

平成21年度 うるま市児童虐待 防止講演会の開催

児童家庭課

☎973-4983

「児童虐待の防止、及び早期発見」その現状と対応について、地域で何ができるのかを考えるための児童虐待防止講演会を行います。「地域からOS・OS」、手を添え、心を添え、つながる支援の和を演題に沖縄県「ザ児童相談所長 宮城伸吉氏をお迎えして、開催します。多くの市民のご参加をお願いします。」

【とき】 7月23日（木）
午後2時～4時

【ところ】 うるま市民芸術劇場燈ホール

【対象】 一般市民

【入場料】 無料

